



しじゅうから

福島市小鳥の森通信 2016年1月号 №363

小鳥の森で観察してみよう 52

ベニヒワ

分類：ホオジロ科

大きさ：13.5cm

生態：数の少ない冬鳥です。植物の種を食べる草食性の野鳥です。

小鳥の森での観察：

昨年冬の冬にマヒワやアトリの群れに混ざりオオバヤシャブシの実を食べる姿が見られました。

頭の上に赤い模様があります。

白と茶色の羽です。



今回の絵は、おおうちゆうむさんが描いてくれました。



1月の自然予報



1月になるとフクロウが繁殖期を迎えます。そのため小鳥の森周辺でも、夕方から「ホッホ、ゴロスク、ホッホ」とさえずる太い声が聞こえてきます。

繁殖と言うと春のイメージがありますが、猛禽類（もうきんるい：ワシやタカ、フクロウの仲間）の一部は、寒い時期から子育てを行います。

運が良ければ日中森の中で、木の上で寝ているフクロウを見つけることがあるかもしれません。



フクロウ

園内を散歩していると、動物の痕跡（こんせき）を見つける事ができるでしょう。

下草が枯れているので、地面に残されたリスの食痕やイノシシの足跡、タヌキのためフンのフィールドサインを見つけやすくなります。

またムササビがネイチャーセンター近くの大きな巣箱を日中のねぐらとして使うことがあります。

巣箱の入口を双眼鏡で見ると、ムササビの一部の毛が時々見えるかもしれません。

イノシシの足あと

リスがマツボックリを食べたあと

巣箱の中にムササビの体の一部が見える事があります



昨年の1月に確認した野鳥情報

2015/1/12	アオサギ（氷の張った池に飛来）
2015/1/14	フクロウ（夕方にさえずりを確認）
2015/1/18	ミヤマホオジロ（今年は12/5に確認）
2015/1/22	ハイタカ（小鳥をねらって飛んでいた）
2015/1/30	ヒガラ（エナガ等の混群にまざり行動）



12月の自然



ネイチャーセンター周辺に、ジョウビタキとルリビタキがなわばりを作りました。

お互いに食性は似ていて、ムシや木の実などを食べる雑食性です。冬の間はそれぞれ1羽で生活をする野鳥なので、自分のなわばりに相手が入り込むと互いに追いはらいます。

冬を越すため、追い払いとエサ探しに日々奮闘している様子でした。

またお互いに鳴き声が「ヒッ、ヒッ」と鳴くので、声だけではどちらが鳴いているのか判別しにくく感じました。



ジョウビタキ

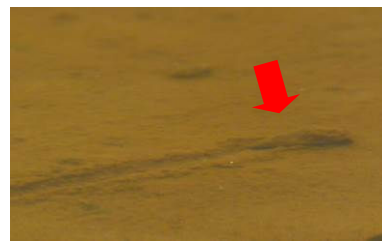


ルリビタキ

棚田を見てみると、水辺の生き物に出会うことが出来ました。水の底では道を作りながら貝の仲間が移動していたり、小さなエビの仲間が泳いでいたりしました。

今年の12月は暖かかったので、なんと水面に水面にはアメンボも発見することが出来ました。

水辺の生き物も元気に活動できた12月でした。



貝の仲間が移動していました



アメンボがいました

小鳥の森スタッフだより

すっかり葉っぱを落とした森の中では、たくさんの面白い顔に出会えます。木々の枝々に現れる「ふゆめ（冬芽）」と呼ばれる顔たちです。

正しくは、頭や前髪のように見える突き出たところが「冬芽」であり、早春に備えて小さく折りたたまれた葉や花が入っています。顔の部分は「葉の柄（え）のあと」で、目や鼻にあたる場所は「パイプ（維管束）のあと」です。この顔は、どのように作られるのでしょうか。

木は、気温が下がると冬に備えて葉を落とします。まず葉に残った養分を回収し冬芽や根に蓄えます。次に葉の柄と枝の間に「離層（りそう）」という壁を作り、それを溶かして葉を落とします。この溶け落ちた面が顔のように見えるのです。木の種類によって違う顔になるので、種類を特定するときに使われることもあります。

(スタッフ 木口千佳)

アジサイの葉痕



小鳥の森出前講座のご案内

当施設では、福島市内の学校や学習センターなど様々な団体向けに出前講座を実施しています。

自然素材を用いた工作や森のお話など色々な講座メニューを用意しております。季節や人数、活動時間に合わせてプログラムを組み合わせたり、調整したりすることもできます。(クラフトの材料等は放射線量の低い地域や県外からの寄付で頂いたものを使用しています。)

受付は先着順に行っていますので、希望日の2週間前までに電話かFAXにて申し込みください。

(※既に希望の日程に予約が入っている場合は対応できない事もありますのでご了承ください。)



※福島市小鳥の森では色々なイベントを開催しています。

詳しくはネイチャーセンターまでお気軽にお問い合わせ下さい。

※小鳥の森ホームページで小鳥の森スタッフが独自に測定した環境放射線量を公開しています。

福島市小鳥の森(ネイチャーセンター) 開館時間：午前8時30分～午後5時
《入場無料》 休館日：毎週月曜日(祝祭日の時はその翌日)

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel:024-531-8411 fax:024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f.kotorinomori.org/> ←アドレスが変更になりました

小鳥の森通信「しじゅうから」2016年1月号No.363/企画・発行：福島市小鳥の森/日本野鳥の会ふくしま